



遠隔モニタリング
システムハンドブック

6290コミュニケーター



遠隔モニタリングシステムってなんですか？

遠隔モニタリングシステムは、ご自宅などの医療施設から離れた場所から、コミュニケーターと呼ばれる専用の送信機をつかって、電話回線などを通じて、ペースメーカーやICD、CRT-Dなどの植込み型機器の情報を医療機関へ送ることができるサービスです。

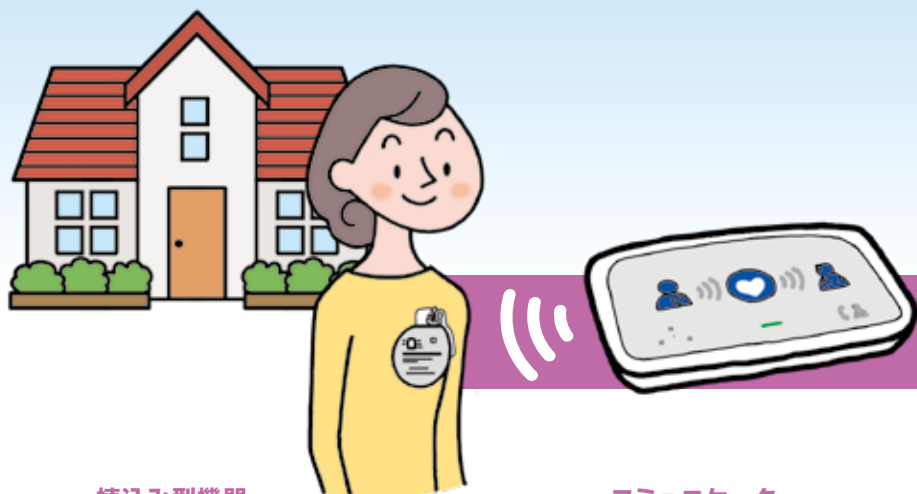




遠隔モニタリングシステムのしくみ

患者さんに植込まれたペースメーカーやICD、CRT-Dといった植込み型機器は、患者さんの体の状態や機器が行った治療の情報を記録しています。

遠隔モニタリングシステムは、コミュニケーターと呼ばれる送信機を通じて、これらの情報をご自宅から医療機関へ送ることができる仕組みです。



植込み型機器

体内に植込まれたペースメーカー、ICD、CRT-Dには治療に必要な様々な情報が記録されています。

コミュニケーター

植込み型機器の情報を、読み込み、電話回線などを通じて、情報を管理する専用サーバへ送信します。



情報



専用サーバ／病院

担当医や医療スタッフは、専用サーバへ送られた植込み型機器の情報をパソコン、タブレット端末、スマートフォンから閲覧できます。

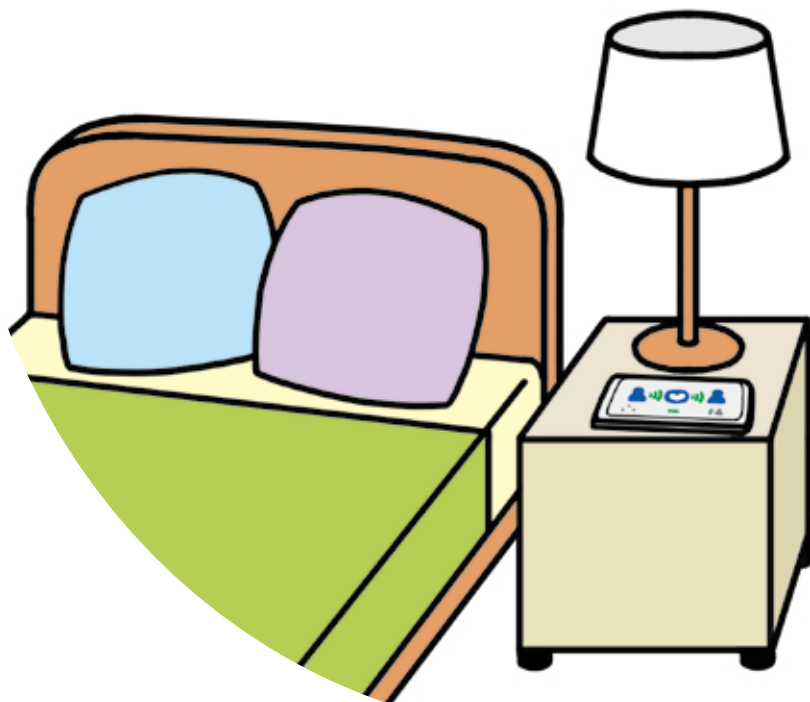
注意 この遠隔モニタリングシステムは、救急対応を目的とするものではありません。お体の具合が悪い時は、担当医師にご相談ください。また、緊急時は、担当医師または119番にご連絡ください。

コミュニケーターの設置場所

コミュニケーターは可能な限り次のような場所に置いてください。

- 眠る場所の近くや、リビングなどの一日の中で多くの時間を過ごす場所
- コミュニケーターの正面が見えやすい場所
- 植込み型機器と同じ程度の高さになる場所
- 電子機器から離れた場所

- 注意**
- コミュニケーターは電源コンセントに差し込んだままにしてください。
 - ご自宅の電話回線を使用する場合、コミュニケーターは電話回線に接続したままにしてください。



Q&A よくある質問

Q1. 外出先にコミュニケーターを持っていくことは可能ですか？

A1. コミュニケーターは外出先で使用することができます。長期間お出かけになるときは、事前に医療機関にご連絡ください。海外にコミュニケーターを持っていく場合の注意点は、LATITUDE™ カスタマーサポートまでお問い合わせください。

Q2. コミュニケーターの通信費用の負担はありますか？

A2. ありません。ご自宅の電話回線を使用する場合、フリーコールで通信を行います。USB 携帯アダプタを使用する場合も費用負担はありません。

Q3. コミュニケーターの操作を間違えた場合、植込み型機器に影響はありますか？

A3. コミュニケーターは植込み型機器の動作に影響を与えることはありません。

Boston
Scientific

LATITUDE™

**緊急時は、担当医師または119番にご連絡ください。
体調にかかわる質問は、担当医師にご連絡ください。**

コミュニケーターの設定・操作方法に関してご不明な点がございましたら、
ラティチュード
LATITUDE™ カスタマーサポートまでお問い合わせください。



0120 - 033 - 686

受付時間：年末年始および土日祝日を除く、月曜日から金曜日 9:00-17:00

LATITUDE™ NXT Wave コミュニケーター
製造販売業者：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
販売名：ラティチュード Wave コミュニケーター
医療機器認証番号：226ADBZX00186000

この冊子に記述されている内容は皆様への情報提供を意図しており、
医学的なアドバイスや診断に使用されるべきものではありません。
もし、健康状態に関して何らかの不安があれば、医師にご相談ください。

© 2022 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.

**Boston
Scientific**
Advancing science for life™

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp

CRM-1387411-AA